

— 平成 28 年度赤十字血液シンポジウム —

第 28 回北海道輸血シンポジウム

テーマ「 輸血・細胞治療の安全性と最新技術 」

開催日:平成 28 年 7 月 8 日(金)・9 日(土)

会 場:日本赤十字社北海道ブロック血液センター3 階研修室

(札幌市西区二十四軒 2 条 1 丁目 1 番 20 号)

➤ 7 月 8 日(金)

13:00-13:05 **開会の挨拶** 高本 滋 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

13:05-13:20 **I 基調講演** 司会:池田 久實 (北海道赤十字血液センター)
「Pathogen Reduction —モグラ叩き?—」
高本 滋 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

13:20-14:20 **II 輸血検査に役立つ新技術**

- 司会:東 寛 (旭川医科大学小児科学講座)
永井 正 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)
1. Luminex system の輸血検査への応用
宮崎 孔 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
 2. ABO 血液型亜型の遺伝子背景
伊佐 和美 (日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所)
 3. 次世代シーケンサーによる HLA タイピングの現状
清水 まり恵 (日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所)
 4. 血小板貪食試験を用いた血小板輸血効果の評価
高橋 大輔 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

14:20-15:20 **III 輸血感染症の最新情報**

- 司会:佐竹 正博 (日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所)
松崎 浩史 (福岡県赤十字血液センター)
1. 2015 年 輸血感染症報告と低出生体重児の CMV 感染
古居 保美 (日本赤十字社血液事業本部)
 2. 個別 NAT スクリーニングの現状と課題
坂田 秀勝 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
 3. 個別 NAT スクリーニング導入効果の評価
橘川 薫 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)
 4. E 型肝炎ウイルス最新情報
松林 圭二 (日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所)

15:20-15:40 **休 憩**

15:40-16:20 **トピックス①** 司会:藤井 聡 (旭川医科大学病院臨床検査・輸血部)
輸血と関連のある新興再興感染症:ジカウイルス、デングウイルス、SFTSV
西條 政幸 (国立感染症研究所 ウイルス第一部)

16:20-17:00 **特別講演** 司会:高本 滋 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

血液事業の将来展望
田所 憲治 (日本赤十字社血液事業本部)

➤ 7月9日(土)

9:00-11:00 IV細胞治療の最新研究

司会: 高本 滋 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
鈴木 信寛 (北海道立子ども総合医療・療育センター)

1. 骨髄間葉系幹細胞からの軟骨再生を目指した工学研究
高木 睦 (北海道大学大学院工学院 応用化学部門・生物工学分野・細胞培養工学研究室)
2. 骨髄間葉系幹細胞を用いた脳梗塞治療
七戸 秀夫 (北海道大学大学院医学研究科医学部 脳神経外科)
3. 自己骨髄間葉系幹細胞を用いた糖尿病性腎症の治療
永石 歓和 (札幌医科大学医学部 解剖学第二講座)

11:00-11:30 トピックス②

司会: 中島 一格 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)
遠隔操作型保冷库による血液供給システムの情報提供(海外でのシステム紹介)
藤原 浩一 (ヘモネティクスジャパン合同会社)

11:30-12:45 昼 食

12:45-13:25 日本輸血・細胞治療学会北海道支部特別講演

司会: 紀野 修一 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

科学的根拠に基づいた血液製剤の使用指針
松下 正 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

13:25-14:05 トピックス③

司会: 谷 慶彦 (大阪府赤十字血液センター)
1 分子デジタルバイオ分析法
野地 博行 (東京大学工学研究科応用化学専攻)

14:05-14:20 休 憩

14:20-15:35 V輸血の安全管理

司会: 柿木 康孝 (市立旭川病院血液内科)
森下 勝哉 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

1. 地域でつなぐ安全の輸血の活動ー血液センターとの連携を通じてー
石井 令子 (札幌中央病院 看護部)
2. 外来輸血の管理
志水 美香 (札幌北楡病院 看護部)
3. 在宅輸血における課題と対策
佐藤 勇人 (山形県赤十字血液センター)
4. 輸血副作用の管理・院内各職種との連携
奥田 誠 (東邦大学医療センター大森病院)
5. チームで行う安全な輸血医療ーコンダクターとしての輸血責任医師の役割ー
加畑 馨 (北海道大学病院 検査・輸血部)

15:35-15:40 閉会の挨拶

山本 哲 (北海道赤十字血液センター)

参加は無料です。参加される方は、別紙により事前に参加申込をお願いします。

☆ 本シンポジウムは、次の制度の単位となります。

日本輸血・細胞治療学会が指定する認定制度、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度(6単位)、
北海道医師会認定生涯教育制度※、日本臨床検査技師会生涯教育研修制度※※

※ 本シンポジウムは北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(9単位)、
カリキュラムコード: 8(医療の質と安全)・9(医療情報)・10(チーム医療)として開催します。
生涯教育制度の取得単位登録には、氏名以外に「医籍登録番号」が必要です。受付時に忘れずにご記入願います。
なお、ご記入いただきました情報は、本講演会実施報告書の作成以外には使用しません。

※※ 日臨技生涯教育研修制度	一般教育研修課程	専門教科	点数 30
----------------	----------	------	-------

主 催: 日本赤十字社北海道ブロック血液センター、日本輸血・細胞治療学会北海道支部、北海道輸血医療研究会
後 援: 北海道、北海道臨床衛生検査技師会、札幌市医師会